

■模擬講義

農学部3学科の先生が、植物や動物の生命に関する知識や技術、人と動植物の関わりについて、25分で講義をします。

8/2(土)	11:15～11:40	畜産学科	池田 周平	畜産と環境 —身近な畜産技術— 輸入飼料に頼らない自給飼料による環境保全型繁殖牛放牧、エコフィードを利用した畜産物の生産、LED照明の畜産への利用技術などを紹介
	11:50～12:15	畜産学科	古川 力	野生牛がスーパーカウに進化する 乳牛は約9,500年前、西アジアにおいて野生牛が家畜化されてから多数の品種が作出され、現在では、統計学とコンピュータの発達とともに改良が進み、年間に2万kgも牛乳を生産するスーパーカウが誕生した。
	12:30～12:55	バイオセラピー学科	藤岡 真実	農学的こころの健康診断 年をとると田舎暮らしや緑色を好むのはなぜ？若い人はどうして植物園より動物園に行くの？日本人が季節限定に弱いのはなぜ？植物や自然にまつわる身近な話題から、人のこころのメカニズムを解説します。
	13:05～13:30	バイオセラピー学科	安藤 元一	カワウソ復活の可能性 近年絶滅したニホンカワウソは、明治時代には都内にも生息する普通種だった。本種をトキやコウノトリのように復活させることは不可能か。遺伝学、生息環境、社会の合意形成、海外事例から、その可能性を探る。
	13:45～14:10	農学科	キム オッキョン	植物ウイルスは悪玉？善玉？ 敵を知り己を知れば百戦危うからず。植物ウイルスによる病害は治療する実用的な技術がないため正確な早期診断により予防するしかない。病原ウイルスの性状を知れば防除に利用できるかも？！
14:20～14:45	農学科	河合 義隆	小果樹を紹介します！ 最近、注目されているまたは今後、期待される小果樹(ブルーベリー、ラズベリー、シーベリー)を紹介し、その栽培等について講義します。	

8/3(日)	11:15～11:40	バイオセラピー学科	御影 雅幸	自然と健康 アジアには中国の伝統医学とインドの伝統医学があります。共通しているキーワードは「自然」です。自然とは何か、なぜ自然保護や里山の保全が重要なのか。自然とヒトの健康との関わりを解説します。
	11:50～12:15	バイオセラピー学科	川嶋 舟	動物に学ぶ～動物介在療法とは～ 人が「生きる」とはどういうことでしょうか。アニマルセラピーとして知られる動物介在療法および動物介在活動での、動物のはたす役割から考えてみましょう。
	12:30～12:55	農学科	本橋 強	「青い花たち」 近年様々な植物で従来存在し得なかった青い花色の植物が作出されてきている。青い色素の合成、花の色に関わる細胞内の要因、花の色の役割、花色変更植物などについて講義する。
	13:05～13:30	農学科	野口有里紗	なぜ葉に香りがあるの？ 花の香りは受粉昆虫を呼ぶため、果実の香りは種子散布の動物を呼ぶためにあるといわれている。では食べられたら困る葉に香りがあるのはなぜだろう？ハーブの香りを嗅ぎながら考えてみよう。
	13:45～14:10	畜産学科	岩田 尚孝	卵子の高齢化に取り組む 晩婚化が進む中、卵子の老化が問題になっています。ウシをモデルとしてわかった事を紹介いたします。
14:20～14:45	畜産学科	村上 覚史	畜肉および内臓の生食はやめましょう 夏は細菌性食中毒の季節。特にカンピロバクターによる食中毒が最も多い。これらの細菌と食用動物との関連について説明する。	